

「ひこさんジュニアキャンプ」HP 原稿

- 主催事業名
平成29年度主催事業「ひこさんジュニアキャンプ」
- ねらい
 - (1) 英彦山の豊かな自然の中での集団生活や体験活動を通して、自然に親しむ心や体を育てる。
 - (2) 友達と一緒に遊んだり、協力したりする体験を通して、協調性や主体性を育む。
 - (3) 目標を設定し、それに向かってチャレンジする心の育成を図る。
- 期日
 - 第1回 平成29年 9月30日(土)～10月 1日(日)
 - 第2回 平成29年10月 7日(土)～10月 8日(日)
 - 第3回 平成29年10月14日(土)～10月15日(日)
- 参加者
 - 第1回 47名(小学1年生 16名、小学2年生 15名、小学3年生 16名)
 - 第2回 47名(小学1年生 16名、小学2年生 15名、小学3年生 16名)
 - 第3回 45名(小学1年生 16名、小学2年生 14名、小学3年生 15名)
- プログラム
第1日目【9月30日(土)・10月7日(土)・10月14日(土)】

| 時 間 | 活 動 内 容 |
|-------------|--|
| 10:30～11:00 | 出合いのつどい |
| 11:00～11:30 | チャレンジ①「レクリエーションでたくさん友達をつくろう」 |
| 11:30～12:30 | 昼食(持参弁当) |
| 12:30～15:00 | チャレンジ②「英彦山を探検しよう」 【雨天】みんなで協力してドミノを作ろう |
| 15:00～16:00 | チャレンジ③「テントをつくろう」 |
| 16:00～19:00 | チャレンジ④「夕食(ハンバーグカレー)をつくろう」 |
| 19:00～20:00 | 入浴 |
| 20:00～21:00 | チャレンジ⑤「キャンドルのつどい」 |
| 21:00～21:30 | ふりかえり |

第2日目【10月1日(日)・10月8日(日)・10月15日(日)】

| 時 間 | 活 動 内 容 |
|-------------|--|
| 6:30～ 7:30 | 起床・テント片付け・荷物整理 |
| 7:30～ 9:00 | チャレンジ⑥「朝食(ホットサンド)をつくろう」 |
| 9:00～10:30 | チャレンジ⑦「英彦山の植物をしらべよう」 【雨天】青年の家を探検しよう(館内フィールドビンゴ) |
| 10:30～13:30 | チャレンジ⑧「昼食(ピザ)をつくろう」 |
| 13:30～14:00 | スライドショー |
| 14:00～ | 別れのつどい |

○ 活動の実際

【出会いのつどい】

キャンプ1日目、一緒に過ごす友だちや学生ボランティアと出会いのつどいを行いました。子どもたちの中には、初めてキャンプに参加する子が多くいました。初対面の友だちに戸惑う姿も見られましたが、青年の家のスタッフや学生ボランティアの自己紹介が終わる頃には笑顔も見られ、緊張も和らいでいました。



【チャレンジ① レクリエーションでたくさん友達をつくろう】

出会いのつどいの後には、仲良く活動を進めていくことができるように、レクリエーションを行いました。じゃんけんをしながらの自己紹介やグループで話し合いながらのゲームなど、このレクリエーションを通して多くの友だちや学生ボランティアと仲良くなることができました。



【チャレンジ② 英彦山を探検しよう（奉幣殿フォトラリー）】

昼食を食べた後は、英彦山の自然や歴史を知るために、英彦山探検に出かけました。地図を頼りに、青年の家から奉幣殿まで歩きました。途中にあるチェックポイントの問題は、班で話し合っ解決しました。後半になると、疲れた友だちに優しく声をかけて励ます姿が見られました。この活動を通して英彦山の歴史や自然に触れながら、班の絆を深めることができました。



【みんなで協力してドミノを作ろう】

第3回は、雨が降りそうな天気だったので、英彦山探検のゴールを奉幣殿から高住神社に変更しました。探検後の残った時間に班ごとにドミノ作りに挑戦しました。途中で失敗してドミノが倒れることもありましたが、班で協力して活動を楽しみました。



【チャレンジ③ テントをつくろう】

探検の後は、寝るためのテント張りを行いました。このテント張りは、友だちと協力することの大切さを学ぶ活動になります。初めてのテント泊にわくわくドキドキする子どもたちが多く、学生ボランティアと一緒に、班で協力してテント設営をしました。



【チャレンジ④ 夕食（ハンバーグカレー）をつくろう】

テント張りの後は、夕食のために、ハンバーグカレーを作りました。どの子も、包丁や皮むき器などを使って、安全に気をつけながら調理していました。自分たちで作ったハンバーグカレーをおいしそうに食べている表情が印象的でした。食後の片づけも、狭い洗い場を譲り合いながら使う姿が見られ、他の班の友だちとも協力して活動することができました。



【チャレンジ⑤ キャンドルのつどい】

入浴後、1日の活動を振り返るためにキャンドルのつどいを行いました。3年生全員が火の守の役になり、誓いの言葉を言ったり、中央のキャンドルへ点火を行ったりしました。その後、みんなでゲームや踊りを楽しみました。あっという間に時間が過ぎました。



【起床・テントの片付け・荷物整理】

朝起きて、歯磨きをしました。着替えも自分でしました。その後、テントを撤収したり、毛布やシュラフをたたんだりしました。子どもたちは、学生ボランティアに手伝ってもらいながら、友だちと協力して自分の荷物整理を行っていました。



【チャレンジ⑥ 朝食（ホットサンド）をつくろう】

テントの片付けの後は、朝食のために、ホットサンドを作りました。ホットサンドづくりでは、特別な調理器具を使わずに、牛乳パックやアルミホイルを使い、洗い物などの片付けが少なくて済む調理方法を体験しました。子どもたちは、自分の役割を果たし、おいしいホットサンドを作ることができました。



【チャレンジ⑦ 英彦山の植物を調べよう】

朝食の後は、青年の家の敷地内の植物を観察する、グリーンアドベンチャー（植物観察ゲーム）を行いました。問題用紙や地図を使って、敷地内のいろいろな植物を探しました。木や葉っぱの違いを注意深く見て、その植物の特徴を観察しました。この活動を通して、子どもたちは英彦山の自然に触れ、英彦山に生育する植物を知ることができました。



【青年の家を探検しよう（館内フィールドビンゴ）】

第3回は雨天のため、グリーンアドベンチャー（植物観察ゲーム）の代わりに、館内フィールドビンゴを行いました。館内フィールドビンゴは、青年の家の館内にあるチェックポイントを探す活動です。班で協力しながら楽しみました。



【チャレンジ⑧ 昼食（ピザ）をつくろう】

最後の活動として、昼食のために、子どもたちが楽しみにしていたピザづくりを行いました。ピザづくりでは、役割分担しながら進めました。粉からつくった生地を自分の好きな形に整えたり、野菜やチーズをトッピングしたりしておいしいピザを作りました。

生地の発酵を待つ間にシャボン玉遊びをしました。シャボン玉は大きいもので直径が40cmを超えるものもあり、子どもたちからは大きな歓声が上がりました。



【スライドショー・別れのつどい】

2日間の「自分の頑張り」や「友達との協力」を思い起こすために、スライドショーを見ました。その後の別れのつどいでは、2日間一緒に過ごした友だちや学生ボランティアとお別れをしました。1泊2日の短い間でしたが、共に活動した調理体験や英彦山探検等を通して、深い心のつながりが生まれました。



○全体をとおして

このキャンプでは、「自分のことは自分でやろう！」「みんなと仲良くしよう！」「友だちと協力しよう！」の3つの目標をもとに活動しました。子どもたちは2日間の様々な体験活動を通して、自分から進んでしようとする意欲を持ち、友だちと協力することができました。また、子どもたちからは、「ピザづくりが楽しかったです。」「来年も参加したいです。」などの感想が多く聞かれ、所期の目標を達成することができました。これからも、英彦山の自然を生かしたプログラムをより多くの子どものために提供していきたいと思えます。